

安全データシート



PicoMaxx High Fidelity PCR System, Part Number 600420

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	: PicoMaxx High Fidelity PCR System, Part Number 600420		
品番 (化学検査キット)	: 600420		
部品番号	: PicoMaxx High Fidelity PCR System	600420-51	
	10X PicoMaxx Reaction Buffer	600420-52	
供給者/ 製造者	: 会社名 アジレント・テクノロジー株式会社		
	住所 〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1		
	電話番号 +81-42-660-3111		
緊急連絡電話番号 (受付時間)	: CHEMTREC®: +(81)-345209637		
化学製品の推奨される用途	: 分析試薬。		
	PicoMaxx High Fidelity PCR System	0.04 ml (100 U 2.5 U/μl)	
	10X PicoMaxx Reaction Buffer	1 ml	

2. 危険有害性の要約

GHS 分類	
PicoMaxx High Fidelity PCR System	眼刺激性 - 区分2B
H320	水生環境有害性 短期(急性) - 区分3
H402	水生環境有害性 長期(慢性) - 区分3
H412	
PicoMaxx High Fidelity PCR System	非該当
10x PicoMaxx Reaction Buffer	水生環境有害性が未知である成分からなる混合物中の濃度割合: 10.5%

GHS ラベル要素	
注意喚起語	: PicoMaxx High Fidelity PCR System 警告 10X PicoMaxx Reaction Buffer 注意喚起語なし。
危険有害性情報	: PicoMaxx High Fidelity PCR System H320 - 眼刺激
	10X PicoMaxx Reaction Buffer H412 - 長期継続的影響によって水生生物に有害重大な作用や危険有害性は知られていない。
注意書き	
安全対策	: PicoMaxx High Fidelity PCR System P273 - 環境への放出を避けること。 10X PicoMaxx Reaction Buffer P264 - 取扱い後はよく洗うこと。該当しない
応急措置	: PicoMaxx High Fidelity PCR System P305 + P351 + P338 - 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続ける こと。 P337 + P313 - 眼の刺激が続く場合: 医師の診察又は手当を受けること。
	10X PicoMaxx Reaction Buffer 該当しない
保管	: PicoMaxx High Fidelity PCR System 該当しない 10X PicoMaxx Reaction Buffer 該当しない
廃棄	: PicoMaxx High Fidelity PCR System P501 - 内容物及び容器を市町村条例、都道府県条例、国内法令及び国際条約の規定に従って廃棄すること。
	10X PicoMaxx Reaction Buffer 該当しない
補足的なラベル要素	: PicoMaxx High Fidelity PCR System 認知済みのものは無し。
	10X PicoMaxx Reaction Buffer 認知済みのものは無し。

## 2. 危険有害性の要約

その他の危険有害性	PicoMaxx High Fidelity PCR System	認知済みのものは無し。
	10X PicoMaxx Reaction Buffer	認知済みのものは無し。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分	PicoMaxx High Fidelity PCR System	混合物
	10X PicoMaxx Reaction Buffer	混合物

化学名又は一般名	含有量(%)	CAS登録番号	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
PicoMaxx High Fidelity PCR System				
グリセリン	≥50 - ≤60	56-81-5	2-242	(2)-242
ポリ(オキシエチレン) = (1, 1, 3, 3-テトラメチルブチル)フェニル=エーテル	≤10	9036-19-5	7-172	7-172
10X PicoMaxx Reaction Buffer				
2-アミノ-2-ヒドロキシメチル-1, 3-プロパンジオール	≤10	77-86-1	2-318	(2)-318
塩化カリウム	≤10	7447-40-7	1-228	(1)-228

## 4. 応急措置

吸入した場合	PicoMaxx High Fidelity PCR System	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。呼吸していない場合、呼吸が不規則な場合、あるいは呼吸停止が起きた場合には、適切な訓練を受けた者が人工呼吸あるいは酸素吸入を行う。救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。健康上有害な影響が持続または重篤な場合には医師の診断を受ける。意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。気道を開いた状態に維持する。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。
	10X PicoMaxx Reaction Buffer	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。症状が現れたら、医師の診断を受ける。火災による分解生成物を吸入した場合、症状は遅れて発生することがある。暴露された人を48時間医師の観察下に置く必要がある。
皮膚に付着した場合	PicoMaxx High Fidelity PCR System	多量の水で、汚染された皮膚を洗淨する。汚染された衣服および靴を脱がせる。症状が現れたら、医師の診断を受ける。衣類は、再着用の前に洗濯する。靴は再使用前に十分に洗淨する。
	10X PicoMaxx Reaction Buffer	多量の水で、汚染された皮膚を洗淨する。汚染された衣服および靴を脱がせる。症状が現れたら、医師の診断を受ける。
眼に入った場合	PicoMaxx High Fidelity PCR System	すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。少なくとも10分間洗い流し続ける。炎症がおさまらない場合、医師の診断を受ける。
	10X PicoMaxx Reaction Buffer	すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。炎症が生じた場合、医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合	PicoMaxx High Fidelity PCR System	水で口を洗淨する。入歯をしている場合ははずす。物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。嘔吐すると危険なことがあるので、もし被災者の気分が悪くなったらそれ以上水を飲ませてはならない。医師の指示がない限り、吐かせてはならない。もし嘔吐が起きた場合は嘔吐物が肺に入らないように頭を低い位置に保つ。健康上有害な影響が持続または重篤な場合には医師の診断を受ける。意識がない場合、決して口からものを与えてはならない。意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。

## 4. 応急措置

10X PicoMaxx Reaction Buffer

気道を開いた状態に維持する。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。  
水で口を洗浄する。物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。医師の指示がない限り、吐かせてはならない。症状が現れたら、医師の診断を受ける。

### 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

#### 予想される急性健康影響

吸入した場合	: PicoMaxx High Fidelity PCR System 10X PicoMaxx Reaction Buffer	重大な作用や危険有害性は知られていない。
皮膚に付着した場合	: PicoMaxx High Fidelity PCR System 10X PicoMaxx Reaction Buffer	重大な作用や危険有害性は知られていない。
眼に入った場合	: PicoMaxx High Fidelity PCR System 10X PicoMaxx Reaction Buffer	重大な作用や危険有害性は知られていない。 眼刺激
飲み込んだ場合	: PicoMaxx High Fidelity PCR System 10X PicoMaxx Reaction Buffer	重大な作用や危険有害性は知られていない。
		重大な作用や危険有害性は知られていない。

#### 過剰にばく露した場合の徴候症状

吸入した場合	: PicoMaxx High Fidelity PCR System 10X PicoMaxx Reaction Buffer	特にデータは無い。
皮膚に付着した場合	: PicoMaxx High Fidelity PCR System 10X PicoMaxx Reaction Buffer	特にデータは無い。
眼に入った場合	: PicoMaxx High Fidelity PCR System	特にデータは無い。 有害症状には以下の症状が含まれる:
	10X PicoMaxx Reaction Buffer	刺激 流涙 充血 特にデータは無い。
飲み込んだ場合	: PicoMaxx High Fidelity PCR System 10X PicoMaxx Reaction Buffer	特にデータは無い。
		特にデータは無い。

#### 応急処置をする者の保護

: PicoMaxx High Fidelity PCR System	人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。
10X PicoMaxx Reaction Buffer	人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。

#### 医師に対する特別な注意事項

: PicoMaxx High Fidelity PCR System	症状に対応した対処療法を行うこと。大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。
10X PicoMaxx Reaction Buffer	火災による分解生成物を吸入した場合、症状は遅れて発生することがある。暴露された人を48時間医師の観察下に置く必要がある。

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤	: PicoMaxx High Fidelity PCR System 10X PicoMaxx Reaction Buffer	火災に応じた消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤	: PicoMaxx High Fidelity PCR System 10X PicoMaxx Reaction Buffer	火災に応じた消火剤を使用する。 認知済みのものは無し。 認知済みのものは無し。

## 5. 火災時の措置

### 特有の危険有害性

: PicoMaxx High Fidelity PCR System

火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。本製品は水生生物に対して有害であり、長期にわたり持続する影響を有する。本物質によって汚染された消火用水は封じ込める必要があり、水路、下水、または排水管に放出してはならない。火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。

10X PicoMaxx Reaction Buffer

### 有害な熱分解生成物

: PicoMaxx High Fidelity PCR System

分解生成物には以下の物質が含まれることがある:

10X PicoMaxx Reaction Buffer

二酸化炭素  
一酸化炭素  
分解生成物には以下の物質が含まれることがある:  
二酸化炭素  
一酸化炭素  
窒素酸化物  
硫黄酸化物類  
ハロゲン化合物  
金属酸化物

### 特有の消火方法

: PicoMaxx High Fidelity PCR System

火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。

10X PicoMaxx Reaction Buffer

### 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

: PicoMaxx High Fidelity PCR System

消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

10X PicoMaxx Reaction Buffer

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

#### 非緊急時対応要員について

: PicoMaxx High Fidelity PCR System

人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。周辺地域の人々を避難させる。関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。蒸気や噴霧の吸入を避ける。十分な換気を行う。換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。適切な個人保護装置を着用する。

10X PicoMaxx Reaction Buffer

人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。周辺地域の人々を避難させる。関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。適切な個人保護装置を着用する。

#### 緊急時対応要員について

: PicoMaxx High Fidelity PCR System

流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報を注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

10X PicoMaxx Reaction Buffer

流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報を注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

### 環境に対する注意事項

: PicoMaxx High Fidelity PCR System

漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。水質汚染物質である。大量に放出されると環境に対して有害である可能性がある。

10X PicoMaxx Reaction Buffer

漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。



## 6. 漏出時の措置

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

: PicoMaxx High Fidelity PCR System

10X PicoMaxx Reaction Buffer

危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。あるいは、または水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。  
危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。あるいは、または水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 安全に取扱うための注意事項

#### 安全取扱注意事項

: PicoMaxx High Fidelity PCR System

適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。摂取してはならない。眼、皮膚および衣類に接触しないようにする。蒸気や噴霧の吸入を避ける。環境への放出を避けること。使用しないときは元の容器又は適合素材で作られた認可済みの代替容器に入れ、密閉して保存する。容器が空でも製品が残存し危険有害性があることがある。容器を再利用してはならない。

10X PicoMaxx Reaction Buffer

#### 衛生対策

: PicoMaxx High Fidelity PCR System

10X PicoMaxx Reaction Buffer

適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。

### 保管

#### 安全な保管条件

: PicoMaxx High Fidelity PCR System

10X PicoMaxx Reaction Buffer

現地の法規制に従って保管する。元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。ラベルのない容器に保管してはならない。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。非相溶性材料については取扱いまたは使用前にセクション10を参照のこと。  
現地の法規制に従って保管する。元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。ラベルのない容器に保管してはならない。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。非相溶性材料については取扱いまたは使用前にセクション10を参照のこと。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 設備対策

: 全体換気装置は作業者がばく露される空中浮遊物質濃度の管理に十分なものを使用する。

### ばく露限界

なし。

### 生物学的暴露指数

認知済みのものは無し。

### 保護具

#### 呼吸用保護具

: 危険性とばく露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。

8. ばく露防止及び保護措置

- 手の保護具

: リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。手袋製造業者により特定されたパラメータを考慮して、手袋の使用中に手袋がまだ保護性を維持しているかを確認すること。あらゆる手袋の材料は製造業者が異なれば透過時間も異なる可能性があることに注意する必要がある。いくつかの物質から成る混合物の場合には、手袋の保護時間を正確に推定することはできない。
- 眼、顔面の保護具

: リスク評価によって必要とされるときは、液体の飛まつ、ミスト、ガスあるいは塵埃への暴露をさけるため、承認された基準に合格した安全眼鏡を着用する。接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない: 耐化学物質飛沫よけゴーグル。
- 皮膚及び身体の保護具

: 作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならない。さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。  
この製品を取り扱う前に、行う作業とそれに付随するリスクに基づき適切な履物および何らかの追加的な皮膚保護具を選択し、専門家の認可を受けなければならない。

9. 物理的及び化学的性質

特に明記されていない限り、性質の測定条件はすべて、標準の温度と圧力である。

- 外観

物理状態

: PicoMaxx High Fidelity PCR System 液体

10X PicoMaxx Reaction Buffer 液体

色

: PicoMaxx High Fidelity PCR System 情報なし。

10X PicoMaxx Reaction Buffer 情報なし。

臭い

: PicoMaxx High Fidelity PCR System 情報なし。

10X PicoMaxx Reaction Buffer 情報なし。

臭いのしきい値

: PicoMaxx High Fidelity PCR System 情報なし。

10X PicoMaxx Reaction Buffer 情報なし。

pH

: PicoMaxx High Fidelity PCR System 8

10X PicoMaxx Reaction Buffer 8.83

融点／凝固点

: PicoMaxx High Fidelity PCR System 情報なし。

10X PicoMaxx Reaction Buffer 情報なし。

沸点又は初留点及び沸点範囲

: PicoMaxx High Fidelity PCR System 情報なし。

10X PicoMaxx Reaction Buffer 情報なし。

引火点

:

化学名又は一般名	密閉式			開放式		
	℃	℉	方法	℃	℉	方法
PicoMaxx High Fidelity PCR System						
グリセリン				177	350.6	
10X PicoMaxx Reaction Buffer						
ソルビタンのドデカン酸モノエステルポリ(オキシエチレン)誘導体	275	527		290	554	

燃焼点

: PicoMaxx High Fidelity PCR System 情報なし。

10X PicoMaxx Reaction Buffer 情報なし。

蒸発速度

: PicoMaxx High Fidelity PCR System 情報なし。

10X PicoMaxx Reaction Buffer 情報なし。

可燃性

: PicoMaxx High Fidelity PCR System 該当しない

10X PicoMaxx Reaction Buffer 該当しない

9. 物理的及び化学的性質

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 : PicoMaxx High Fidelity PCR System 情報なし。  
10X PicoMaxx Reaction Buffer 情報なし。

蒸気圧

:

化学名又は一般名	20℃の蒸気圧			50℃の蒸気圧		
	mm Hg	kPa	方法	mm Hg	kPa	方法
PicoMaxx High Fidelity PCR System						
水	23.8	3.2		92.258	12.3	
グリセリン	0.000075	0.00001		0.0025	0.00033	
10X PicoMaxx Reaction Buffer						
水	23.8	3.2		92.258	12.3	
ソルビタンのドデカン酸モノエステルのポリ(オキシエチレン)誘導体	<1	<0.13				

相対ガス密度 : PicoMaxx High Fidelity PCR System 情報なし。  
10X PicoMaxx Reaction Buffer 情報なし。

相対密度 : PicoMaxx High Fidelity PCR System 情報なし。  
10X PicoMaxx Reaction Buffer 情報なし。

溶解度	メディア		結果
	PicoMaxx High Fidelity PCR System		
	水		可溶性
	10X PicoMaxx Reaction Buffer		
	水		可溶性

n-オクタノール／水分配係数 : PicoMaxx High Fidelity PCR System 該当しない  
10X PicoMaxx Reaction Buffer 該当しない

自然発火点	化学名又は一般名	℃	℉	方法
	PicoMaxx High Fidelity PCR System			
	グリセリン	370	698	

分解温度 : PicoMaxx High Fidelity PCR System 情報なし。  
10X PicoMaxx Reaction Buffer 情報なし。

粘度 : PicoMaxx High Fidelity PCR System 情報なし。  
10X PicoMaxx Reaction Buffer 情報なし。

粒子特性  
中央粒径値 : PicoMaxx High Fidelity PCR System 該当しない  
10X PicoMaxx Reaction Buffer 該当しない

その他のデータ  
追加情報なし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	: PicoMaxx High Fidelity PCR System 10X PicoMaxx Reaction Buffer	この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。 この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。
化学的安定性	: PicoMaxx High Fidelity PCR System 10X PicoMaxx Reaction Buffer	製品は安定である。 製品は安定である。
危険有害反応可能性	: PicoMaxx High Fidelity PCR System 10X PicoMaxx Reaction Buffer	通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。
避けるべき条件	: PicoMaxx High Fidelity PCR System 10X PicoMaxx Reaction Buffer	特にデータは無い。 特にデータは無い。
混触危険物質	: PicoMaxx High Fidelity PCR System 10X PicoMaxx Reaction Buffer	酸化剤とは反応することがあるか、危険配合物質。 酸化剤とは反応することがあるか、危険配合物質。
危険有害な分解生成物	: PicoMaxx High Fidelity PCR System 10X PicoMaxx Reaction Buffer	通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

## 11. 有害性情報

### 急性毒性

製品 / 成分の名称	結果	種類	投与量	ばく露時間
PicoMaxx High Fidelity PCR System グリセリン ポリ(オキシエチレン)=(1, 1, 3, 3-テトラメチルブチル)フェニルエーテル	LD50 経口 LD50 経口	ラット ラット	12600 mg/kg 2800 mg/kg	- -
10X PicoMaxx Reaction Buffer 2-アミノ-2-ヒドロキシメチル-1, 3-プロパンジオール 塩化カリウム	LD50 経皮 LD50 経口	ラット ラット	>5000 mg/kg 2600 mg/kg	- -

### 急性毒性の推定

製品 / 成分の名称	経口 (mg/kg)	経皮 (mg/kg)	吸入 (気体) (ppm)	吸入 (蒸気) (mg/l)	吸入 (粉じん/ミスト) (mg/l)
PicoMaxx High Fidelity PCR System グリセリン ポリ(オキシエチレン)=(1, 1, 3, 3-テトラメチルブチル)フェニルエーテル	12600 500	N/A N/A	N/A N/A	N/A N/A	N/A N/A
10X PicoMaxx Reaction Buffer 10X PicoMaxx Reaction Buffer 塩化カリウム	11555.6 2600	N/A N/A	N/A N/A	N/A N/A	N/A N/A

### 刺激性/腐食性



## 11. 有害性情報

製品 / 成分の名称	結果	種類	スコア	ばく露時間	観察
PicoMaxx High Fidelity PCR System グリセリン	眼 - 軽度の刺激	ウサギ	-	24 時間 500 mg	-
	皮膚 - 軽度の刺激	ウサギ	-	24 時間 500 mg	-
ポリ(オキシエチレン)=(1, 1, 3, 3-テトラメチルブチル)フェニル=エーテル	眼 - 強度の刺激	ウサギ	-	1 %	-
10X PicoMaxx Reaction Buffer					
2-アミノ-2-ヒドロキシメチル-1, 3-プロパンジオール	皮膚 - 中程度の刺激	ウサギ	-	25 %	-
	皮膚 - 強度の刺激	ウサギ	-	500 mg	-
塩化カリウム	眼 - 軽度の刺激	ウサギ	-	24 時間 500 mg	-

### 呼吸器感作/皮膚感作

情報なし。

### 生殖細胞変異原性

情報なし。

### 発がん性

情報なし。

### 生殖毒性

情報なし。

### 特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	カテゴリー	暴露経路	標的器官
10X PicoMaxx Reaction Buffer 2-アミノ-2-ヒドロキシメチル-1, 3-プロパンジオール	区分3	-	気道刺激性

### 特定標的臓器毒性、反復ばく露

情報なし。

### 誤えん有害性

情報なし。

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

製品 / 成分の名称	結果	種類	ばく露時間
PicoMaxx High Fidelity PCR System グリセリン	急性 LC50 54000 mg/l 真水 急性 EC50 210 µg/l 真水	魚類 - Oncorhynchus mykiss 藻類 - Selenastrum sp.	96 時間 96 時間
ポリ(オキシエチレン)=(1, 1, 3, 3-テトラメチルブチル)フェニル=エーテル	急性 LC50 10800 µg/l 海水 急性 LC50 8600 µg/l 真水 急性 LC50 7200 µg/l 真水	甲殻類 - Pandalus montagui - 成体 ミジンコ類 - Daphnia magna - 新生児 魚類 - Oncorhynchus mykiss	48 時間 48 時間 96 時間
10X PicoMaxx Reaction Buffer			
2-アミノ-2-ヒドロキシメチル-1, 3-プロパンジオール	急性 EC50 >980 mg/l 真水 急性 NOEC 520 mg/l 真水 急性 EC50 9.24 g/L 真水	ミジンコ類 ミジンコ類 藻類 - Desmodesmus subspicatus	48 時間 48 時間 72 時間
塩化カリウム			

## 12. 環境影響情報

	急性 EC50 1337000 µg/l 真水 急性 EC50 83000 µg/l 真水 急性 LC50 9.68 mg/l 真水  急性 LC50 509.65 mg/l 真水	藻類 – Navicula seminulum ミジンコ類 – Daphnia magna 甲殻類 – Pseudosida ramosa – 新 生児 魚類 – Danio rerio	96 時間 48 時間 48 時間  96 時間
--	--	---	--------------------------------------

### 残留性・分解性

製品 / 成分の名称	テスト	結果	投与量	植種源
PicoMaxx High Fidelity PCR System グリセリン	301D Ready Biodegradability – Closed Bottle Test	93 含有量(%) – 30 日	–	–
10X PicoMaxx Reaction Buffer 2-アミノ-2-ヒドロキシメチル-1, 3-プロパンジオール	OECD 301F Ready Biodegradability – Manometric Respirometry Test	97.1 含有量(%) – 容易 – 28 日	30 mg/l	–
製品 / 成分の名称	水中における半減期		光分解	生分解性
10X PicoMaxx Reaction Buffer 2-アミノ-2-ヒドロキシメチル-1, 3-プロパンジオール 塩化カリウム	– –		– –	容易 容易

### 生体蓄積性

製品 / 成分の名称	LogP <sub>ow</sub>	BCF	可能性
PicoMaxx High Fidelity PCR System グリセリン ポリ(オキシエチレン) = (1, 1, 3, 3-テトラメチルブチル)フェニルエーテル	–1.76 2.7	– 78.67	低 低
10X PicoMaxx Reaction Buffer 2-アミノ-2-ヒドロキシメチル-1, 3-プロパンジオール 塩化カリウム	–2.31 –0.46	– –	低 低

土壌中の移動性 : 情報なし。

オゾン層への有害性 : 該当しない

他の有害影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

## 13. 廃棄上の注意

**廃棄方法** : 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要があります。この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。不要な包装材料は再利用しなければならない。焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。清掃または洗浄されていない空容器を取り扱う際には注意しなければならない。空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

## 14. 輸送上の注意

UN / IMDG / IATA : 規定なし。

使用者のための特別な予防措置 : 使用者の施設内での輸送: 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。

IMO機器によるばら積み運搬 : 情報なし。

## 15. 適用法令

### 消防法

カテゴリー	物質名／種類	危険性区分	注意喚起語	指定数量
PicoMaxx High Fidelity PCR System 第四類危険物	以下を含む物質: 第三石油類(水溶性)	III	火気厳禁	4000 L
10X PicoMaxx Reaction Buffer 指定可燃物	以下を含む物質: 可燃性液体類	非該当	非該当	2 m <sup>3</sup>

消防活動阻害物質 : 非該当

### 労働安全衛生法

該当しない

### 化学物質審査規制法

化学名又は一般名	状況	整理番号
PicoMaxx High Fidelity PCR System (アンヒドロ(又はジアンヒドロ)グルシトールとドデカン酸のモノエステル)と $\alpha$ -ヒドロ- $\omega$ -ヒドロキシポリ(オキシエチレン)のモノ(又はポリ)エーテル エチレンジアミン四酢酸	優先評価化学物質	222
	優先評価化学物質	36
10X PicoMaxx Reaction Buffer (アンヒドロ(又はジアンヒドロ)グルシトールとドデカン酸のモノエステル)と $\alpha$ -ヒドロ- $\omega$ -ヒドロキシポリ(オキシエチレン)のモノ(又はポリ)エーテル	優先評価化学物質	222

### 毒物及び劇物取締法

非該当

### 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律 (PRTR) - 2023年3月まで

非該当

### 化学物質排出把握管理促進法 - 2023年4月から

非該当

## 16. その他の情報

### 履歴

発行日/改訂版の日付 : 2022/11/21

前作成日 : 2022/10/05

バージョン : 6.1

16. その他の情報

略語の解説

: ATE = 急性毒性推定値  
BCF = 生物濃縮係数  
GHS = 化学品の分類および表示に関する世界調和システム  
IATA = 国際航空輸送協会  
IBC = 中型運搬容器  
IMDG = 国際海上危険物  
LogPow = オクタノール/水の分配係数の対数  
MARPOL = 海洋汚染防止条約、1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978年の議定書。 (“Marpol” = 海洋汚染)  
N/A = データなし  
UN= 国際連合

分類を行うために使用する手順

分類	由来
PicoMaxx High Fidelity PCR System 眼刺激性 – 区分2B 水生環境有害性 短期(急性) – 区分3 水生環境有害性 長期(慢性) – 区分3	算出方法 算出方法 算出方法

参照 : 情報なし。

前バージョンから変更された情報を指摘する。

注意事項

使用者への注意: このデータシートは作成時における最新情報に基づいて作成されています。しかしながら記載されている内容は情報提供であり、その正確性あるいは完全性に関していかなる保証をなすものではありません。